

KOSEN-REIM 西川和廣賞 実施要領

1. 主旨説明

地元のインフラを守る「名もなき貢献者」に光を当てる表彰を実施します。

当機構理事長の西川和廣は、建設省-国土交通省での勤務を通じて30年以上前から、道路橋の適切な維持管理による長寿命化を訴えてきました。経済性のみを追い求めて短期間で更新するのではなく、維持管理に対する設計上の配慮を十分に行ったうえで作られた橋を、効果的にメンテナンスすることにより、ほぼ永久的な寿命を目指すべきという考えからです。

地方自治体管理の小規模なインフラは膨大な数があり、すべてを定期的に更新することは不可能です。限られた金銭的・人的資源の中、自治体職員や地元の点検会社・建設会社のたゆまぬ努力と工夫で、長寿命化や崩壊の防止が図られています。それらは決してニュースになることはありません。当機構ではインフラの維持管理に奮闘する名もなき貢献者を顕彰することで、維持管理の重要性に光を当て、インフラ長寿命化社会への変革を目指すことが重要であると考え、西川和廣の名を冠した賞を創設することとしました。

2. 部門

「予防保全部門」社会インフラの劣化・崩壊などを未然に防ぐことに貢献した個人もしくは団体に授与される。

「技術開発部門」地域ニーズに合致した社会インフラの長寿命化に資する設計・施工・維持管理に関する技術・工法・発注形態等を実装した個人もしくは団体に授与される。

「人材育成部門」持続的な社会インフラの建設・維持・管理を可能とするための人材育成・人材開拓・市民啓蒙などの活動を実施した個人もしくは団体に対して授与される。

3. 選考方法

1) 自薦もしくは当機構の会員（法人、行政、個人の全種別）、理事、顧問、パートナー技術者による推薦を受け付ける。推薦は別紙推薦書書式を用いる。締切は毎年4月末日とする。

2) 表彰の理由となる事象・活動は前年のものに限定しない。

3) 当機構理事長を委員長とする選考委員会を開催し、各部門の受賞者を決定する。選考委員会のメンバーは、当機構理事および顧問から選任する。

4. 表彰

受賞者は当機構の開催するイベント（KOSEN-REIM フォーラム）に招待し、会場にて表彰する。記念の盾を贈呈する。

一般財団法人高専インフラメンテナンス人材育成推進機構

令和7年5月制定

令和8年3月改定

西川和廣について

1994年土木学会論文集に招待論文「道路橋の寿命と維持管理」を発表、戦後の高度経済成長時代に急速に整備された我が国の道路橋が将来一斉に寿命を迎え、更新が追い付かなくなることに気づいていち早く警鐘を鳴らし、予防保全による長寿命化が必要不可欠であることについて提唱したことで知られる。

1990年代の10年間、旧建設省土木研究所橋梁研究室長として橋の維持管理に関する研究を進める傍ら、現在の道路橋点検士制度に連なる道路橋点検技術者研修の立ち上げに寄与している。また、国土交通省退官後においても（一財）橋梁調査会において70人の診断員の教育を手がけ、その経験を踏まえ（国研）土木研究所構造物メンテナンス研究センターにて診断AIシステムを構築するなど、インフラメンテナンスへの関与を継続している。

2009年国土交通省国土技術政策総合研究所長、2012年一般財団法人橋梁調査会専務理事、2017年国立研究開発法人土木研究所理事長を歴任、2007年には土木学会鋼構造委員長を務めている。2017年には「道路橋長寿命化の提唱とその実現のための技術開発および点検・診断技術の普及への貢献」に対して土木学会田中賞業績部門を受賞、2023年秋の叙勲で瑞宝中綬賞を受賞している。

2023年より一般財団法人高専インフラメンテナンス人材育成推進機構理事長

(別紙 1)

KOSEN-REIM 西川和廣賞選考委員会 御中

年 月 日

推 薦 書

推薦者所属
氏名

私は、 年度西川和廣賞の選考対象者として以下の通り推薦いたします。

対象者氏名 もしくは団体名	
所属（個人の場合）	
該当部門	・ 予防保全部門 ・ 技術開発部門 ・ 人材育成部門
対象となる業績・ 事象の名称	
業績・事象の概要	
他の受賞歴・応募中 の賞等	
参考文献・URL 等	